

神奈川県「次世代型太陽電池普及促進事業費補助金」の実証事業にアキレス「災害用エアーテント」が採択

アキレス株式会社(本社:東京都新宿区、社長:日景一郎)は、神奈川県の「次世代型太陽電池普及促進事業費補助金」のもと実施される事業に参画し、リチウムイオン蓄電システムの開発、設計、製造、販売等を手掛ける株式会社ベイサン(本社:神奈川県横浜市、社長:矢野智久)との共同開発による、次世代型太陽電池を設置した「災害用エアーテント」が実証事業に採択されました。

本実証事業は、神奈川県による「次世代型太陽電池普及促進事業費補助金」の支援を受けて実施されます。「薄くて、軽くて、曲げられる」という特長を持つ「ペロブスカイト太陽電池」などの次世代型太陽電池を多くの県民や事業者に見て、知っていただく「見える化」を図ることを目的としており、当社の事業を含む5件が採択され、9月下旬から神奈川県内各地で順次実施される予定です。

当社とベイサンとの実証事業では、アキレスの「災害用エアーテント」に、ペクセル・テクノロジー株式会社が開発を進めている「ペロブスカイト太陽電池」を設置し、災害時などを想定したポータブル電源としての活用や、発電電力によるエアーテント内照明の点灯や蓄電池への充電などの実証実験を行います。

当社は日本初の陰・陽圧式エアーテントをはじめ、災害時における現場対応拠点や医療救護所、物資保管所などに幅広く使用できる高品質の「災害用エアーテント」を開発・製造しており、災害の現場で活動する方々や被災された方々への支援を進めております。

今回の次世代型太陽電池の普及促進事業への参画を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



画像:アキレス「災害用エアーテント」への
「ペロブスカイト太陽電池」設置イメージ